

ELS-Gプログラム 説明会

2020年6月26日(金)

自己紹介

- 法学研究科：角松生史、高橋裕
- 経済学研究科：柳川隆、水野倫理、山岡淳
- 学際教育センター：RIMINUCCI Michela (リミヌッチ・ミケーラ)

ELS-Gプログラム について

ELS-G プログラム とは

- エコノリーガル大学院プログラム = ELS-Gプログラム
 - Econo-Legal Program (ELS) - Graduate (G)
- 法学・経済学両研究科の教員による指導の下に、法学と経済学の複眼的な研究能力を備えたグローバル人材の養成を目的とする
- 国際ワークショップ等における英語での研究報告を重視し、海外の提携大学に所属する教員の指導を受ける機会を与える
 - マレーシア・クアラルンプール(マレーシア国民大学)
 - 上海(上海交通大学)
 - 他
- ご参考に:[プログラムHP](#)

ELS-G プログラム 構成

- 博士課程前期課程プログラム(ELS-M)
 - 対象:法学・経済学研究科に所属する学生だけ
 - M = マスター(修士)
- 博士課程後期課程プログラム(ELS-D)
 - 対象:法学・経済学研究科以外に所属する学生も(全研究科)
 - D = ドクター(博士)
- ご参考に:[プログラム実施要項](#)

ELS-M 修了要件

- 授業
 - エコノリーガル概論(2単位)
 - ELS-Mセミナー(1単位×2回=2単位)
- 研究発表
 - 海外で英語による研究報告を1回以上
- 研究成果
 - 英文による研究成果を1篇以上

ELS-D 修了要件

- 授業
 - エコノリーガル概論(2単位)
 - 博士課程前期課程で修得している場合は不要
 - ELS-Dセミナー(1単位×3回=3単位)
- 研究発表
 - 海外で英語による研究報告を1回以上
- 研究指導
 - 海外の大学等の教員による指導を1回以上
- 研究成果
 - 英文による研究成果を1篇以上

登録手続き について

登録

①

- <http://www.office.kobe-u.ac.jp/intl-cip/register.html>
- 6月26日(金)から7月3日(金)まで
- 募集人員:若干名
 - 総定員は20名程度
 - 定員を超える場合、オンライン面談を行うことがある

登録

②

- 所属研究科の指導教員の承認を得た上で、申込用紙を国際交流課プログラムコーディネート事務室まで提出
 1. 郵送
 2. パスワード付きの電子ファイルでメール送付
- 〒657-8501
神戸市灘区六甲台町2-1
神戸大学六甲台キャンパス社会科学系フロンティア館6階
国際部国際交流課プログラムコーディネート事務室
電話：078-803-7077
intl-prg@office.kobe-u.ac.jp

ELS-M タイムライン (例)

- 2020年7月 登録手続き
- 2020年10月 スタート
 - 2020年10月から2021年2月まで
 - ELS-M/Dセミナーを履修して研究を行う(法学・経済学両研究科の教員による指導を受ける)
 - 2021年3月
 - 国内フィールドワークに参加(任意)
 - 海外で英語による研究報告して海外の提携大学に所属する教員の指導を受ける
 - 英文による研究成果を1篇
 - 2021年4月から7月まで
 - エコノリーガル概論を履修
 - ELS-M/Dセミナーを履修して研究を行う(法学・経済学両研究科の教員による指導を受ける)
- コロナ禍が続いたら？授業・指導などはZoomなどで行う

ELS-Gプログラムの のメリット



マレーシア(2018年、2019年)





↑ キックオフシンポジウム(2020年) ↓



→ フィールドワーク(篠山)



将来に繋がる

- ELS-Gプログラムなら
 - 具体的な社会問題にアプローチできる
 - リサーチに対する意識が変わる
 - 海外での研究経験が増える
 - 英語で発表する・英語で論文を書く
 - 法経両方分野の理解力が高まる
 - 新しいことを考えられる人材になれる

質疑応答

Q&A

Q&A

①

- Q1: 募集人員についての詳細を教えてくださいませんか。
- A1: 総定員は20名(各学年4名)程度ですが、ELS-G在生が7人(D2四人、D1一人、M2二人)なので、まだ余裕があります。

- Q2: 英文による研究成果について詳しく説明していただけますか。
- A2: 英語で論文を書くことにハードルが高い印象があるかもしれませんが、指導員の下で行った研究を論文集に掲載するので、あまり心配はいりません。英文校正も行い、英語力に自信がない学生も支援します。

Q&A

②

- Q3: 法学・経済学研究科以外に所属する学生も登録できますか。
- A3: ELS-D(博士課程後期課程プログラム)なら大歓迎です。

- Q4: 自分の研究テーマの見つけ方についてどうすればいいでしょうか。
- A4: ELS-Gセミナーや海外での研究報告において、自分の興味があるテーマについて異分野・異文化の人々に説明し、アドバイスをもらって研究テーマを絞り、法学的・経済的な視点を持つ目を育てるのが理想的な方法です。